



なかよしフェスティバル



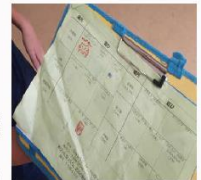
豊橋市松葉小学校
PTA 広報部

令和5年度

No.4

松葉っ子たちがとても楽しみにしていた「なかよしフェスティバル」が6月13日（火）に行われました。文化祭のような行事で、高学年の子どもたちがお店を用意し、低学年の子どもたちを中心にもてなします。昨年からは始まり今年も2回目の開催でした。

4～6年生は各クラス3～5つの出し物を決め、5月からグループで話し合いながら準備をしてきました。前日の全校朝会では、各お店が魅力を紹介し、低学年の子どもたちのわくわくをいっそう盛り上げていました。当日の朝、4～6年生は高揚感と緊張を伺わせながら、準備に手を動かしていました。開会式は放送にて行われ、校長先生は「人を楽しませるって、とても難しい



ことですが、がんばってください。」と話されていました。開始のチャイムと共に全学年が一斉に動き出し、各自目的のお店へ一目散に向かっていました。自由な発想の中で一つの形にまとめ上げ、協力しあう子どもたちの姿にとっても驚きました。



【4年生】

4年生は初めての出店でしたが、3年生の時からあたためていたアイデアが爆発している印象でした。下級生でもわかる説明の仕方や、ゲームのレベル合わせも多数工夫されていて、何度でも訪れたいくなる楽しいお店がいっぱいでした。「もう一回やりたい」という低学年の子どもに「次の人も並んで待っているからもう一度並んでね」と優しく上手に誘導していました。高学年の子どももお客さんとして参加するのですが、見た瞬間にやり方がわかるものでも、4年生の説明を最後までしっかりと聞いていました。

教室から離れている場所では、だれも来てくれないかも・・・と手作りの看板を持って廊下でみんなを誘っていました。お店の数が多く、その分一人一人の役割が多くて複雑になり苦労していましたが、いろんなアイデアが組み合わさって、とてもユニークなお店になっていました。ぜひこの経験をみんなで共有して来年に活かしてほしいと思いました。



【もぐらたたき】

「もぐらがゆっくり出てくる～」と言いながら2回ずつ叩いていました。

【わにわにパニック】

お互いが見えない中での駆け引きがあり、横から見ていてもおもしろかったです。





【輪投げ】

むずかしいコースを選ぶと、ラケットの邪魔が入ります。校長先生はあまりの難かしさに驚いていました。

【箱の中身はなんでしょう】

中身はルービックキューブや名札のような硬いものや、綿などの柔らかいものなど、身近なものからふだんあまり触れないものまで用意されていました。



【スーパーボールすくい】

すくう道具に「手作りのざる」か「菜箸」を選び、時間内に何個すくえるかを競うゲーム。ズボンがびしょ濡れになったり、たくさんとれて喜んだりしていました。

【トレジャーハンター】

「難しいよ～無理ゲー～だっ！」と声が漏れるたびに、担当の子どもは得意げな顔で嬉しそうにしていました。



【ストラックアウト】

大きな一枚の絵があり、つい当てたくなる場所がちやんとまよっていました。当たったときの達成感があるのでみんな夢中で投げていました。

【スライム作り】

大人気のお店で、最後まで列ができていました。きれいな色のついたスライムを手でももみもみしている子どもたちを、いたるところで見かけました。



【ボーリングガチャ】

手作りガチャの中にスーパーボールが入っていて、ボーリングの玉を投げる回数が、出たスーパーボールの色で決まります。ガチャの部品の調子が悪くなると、すぐに調整し上手に対応していました。



【空気ほう おぼけたいじゲーム】

おぼけの絵がトイレットペーパーの芯に貼ってあり、ペットボトルの空気ほうで、蓋を飛ばして当てるゲーム。説明がぎっしりと書かれた紙を片手に丁寧に説明していました。



【バランスタワーゲーム】

時間内に紙コップやトイレットペーパーの芯を積み上げて得点を競うゲーム。制限時間が気になって緊張してしまう子もいました。見た目以上に難しかったようで、もっと積めたと悔しがる子もたくさんいました。



【スイスイのほろ いろんなもの】

紐を動かしながら紙コップを動かすゲーム。
動きがおもしろく、こつをつかむとすいすいと動くので、みんな夢中になっていました。

【動く まと当て】

割り箸とクリップでできたゴム鉄砲で、くるくる回るまるとに当てるゲーム。
途中輪ゴムが切れてしまうハプニングにも、慌てずにみんなで協力して対応していました。

【準備した児童のコメント】

「テープを巻いたり、色塗をしたり、準備にとても時間がかかった」

「たくさん来てくれてうれしかった」

「段ボールをたくさん使って壁を作った。しかけのひもが垂れてきてバランスが難しかった」

「道具やセットを作るのが大変だった」



【5年生】

5年生は昨年の経験を活かし「とびだすフーフーくん」「ストロー飛行機」などのクラフト系のものや、「射的」や「ボウリング」などのゲーム系のものなど、バラエティに富んだお店が並んでいました。開始直後はお客さんが全然来なくて不安そうにする姿もありましたが、看板をもって呼び込みに行ったり、



低学年の子たちを優しく案内したりと自ら動く姿がありました。作り方の説明やゲームをする際に学校から配付れたiPadのプログラミングソフトを使ってわかりやすくする工夫をしている出し物もあり、授業で習ったことを活かしているな、と感じました。また、「音・曲当てゲーム」ではiPadから音を出し、「おばけたいじ」では雰囲気作りのためのBGMを流していました。

はじめは一人でゲームの進行をしていたけれどそれでは大変だと気づき、途中から2人で役割分担をしながら進めるとうまくいくなど、その場で考えながらお店を切り盛りする姿も見られました。前半終了後の「休憩」の際には、グループで反省点を話し合い、順番待ちの人のために椅子を用意したり、

お客さんが少なかった店には呼び込みをすることを勧めたりしていました。思ったようにできなかったと

感じた部分も多かったようでしたが、その反省は来年に活かし、来年は学校全体を引っ張って行ってほしいなと思いました。

